

SDGs

SDGsの取組事例

01 会社概要

会社名：新太平洋建設 株式会社

会社所在地：北海道札幌市中央区

従業員数：89人(男性：80人、女性9人)

資本金：9,000万円

事業内容：土木工事一式、建築工事一式

SDGs取組開始年：2020年5月

SDGsの公開情報：新太平洋建設株式会社・北海道札幌市 (<http://shintaiheiyo.com>)

SDGsのメインターゲット

 <p>5 ジェンダー平等を 実現しよう</p>	<p>ゴール⑤ ジェンダー平等を実現しよう 男女差別を解消し、女性の活躍する場を強化します</p>
 <p>9 産業と技術革新の 基盤をつくろう</p>	<p>ゴール⑨ 産業と技術革新の基盤をつくろう 強靱なインフラ構築とイノベーションを推進します</p>

02 SDGsの取組の経緯と現状

取組の経緯

当社の企業活動にあたっては、社会通念に沿った活動を通じて、良き企業市民として社会的責任(CSR)を果たすことが重要と考えています。

新型コロナウイルスへの感染対策として「新しい生活様式」への取組みが求められている中、一市民・一企業として感染対策に立ち向かうためには、国際的視点に立って協働して取り組むSDGsの考えにも共通していると考え、国が感染症の拡大対策に伴う緊急事態宣言を解除した2020年5月26日に当社としての取組概要を公表しました。



取組の現状

取組当初は、5つの目標から取組概要をHPで公表していましたが、会社内を見渡すとあれもこれもSDGsに繋がる取組みに気づく点が多々見受けられ、2022年4月までに目標は7つに増え、取組概要も12回の時点更新を行いながら、取組み内容の充実を図っています。

ゴール⑤ 取組の現状

当社での代表的な取組みとして、今年で6年目となる女性職員による現場安全パトロール「けんせつ小町パト



けんせつ小町パトロール

ロール」を実施しており、女性目線による5S(整理、整頓、清潔、清掃、しつけ)活動を推進しています。

ゴール⑨ 取組の現状

強靱なインフラ構築とイノベーション(新たな技術革新)の推進では、河川内で行う河道掘削工事と橋梁新設工事で洪水対応タイムライン(事前防災行動計画)を発注者の監督員と連携して作成しています。

洪水で重機を失う損失よりも、重機からの油の流出による漁業への影響など、社会的な損害の方が大きいことが想定されます。

このためタイムラインでは、洪水対応での情報連絡や避難等の各ステージ毎に取組むべき行動を事前に整理したうえで運用しており、一企業としては全国的にも稀な取組みを実施しています。

石狩川での河道掘削工事



豊平川での橋梁新設工事

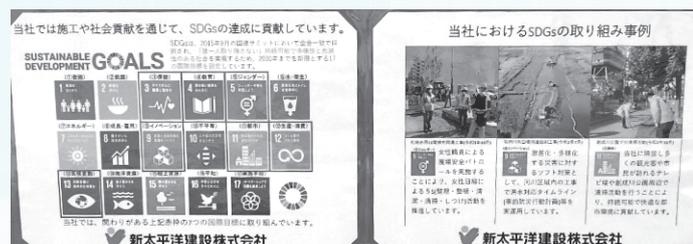


03 SDGsの取組の意義・効果・変化

効果、変化

女性技術者を増やすため、当社の職員(2名)を当社のHP等で紹介した結果、今年2名の女性技術者を採用出来ました。

また、工事現場事務所でSDGsの取組概要を掲示するなど、仕事を通じて環境や社会課題に貢献することは、社員の働く意識向上と会社の活性化にも繋がるものと考えています。



工事現場事務所での掲示

04 SDGs推進担当者の声

SDGs担当者 営業部 高橋 隆徳

コメント

持続可能な社会作りに貢献することを今後の重要な課題ととらえており、世界的な共通目標であるSDGsの達成に向けた取り組みを行っています。

一番初めに取組んだことは、SDGsとは何かを社内全員に知っていただくことです。取組概要を社内内で共有し、積極的にHPに発信をしました。

普段気にしないでやっていたことがSDGsに貢献していると知ることが出来たり、今後もやり方を少し変えればSDGsに繋がるなど、新しい発見をたくさん見つけることが出来て、現在では、社員全員のSDGsに対する意識が変わったと実感しております。

今後もより良い社会を目指して社員一同、SDGsに積極的に取り組んでいきます。

